

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

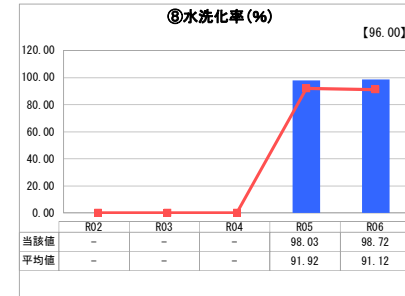
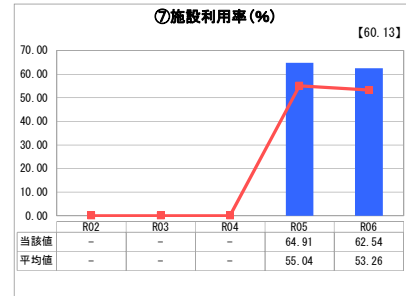
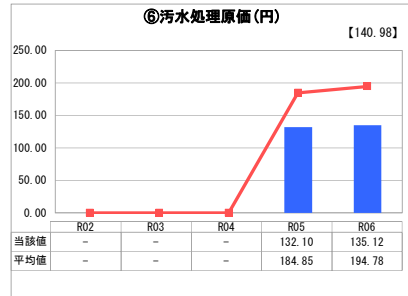
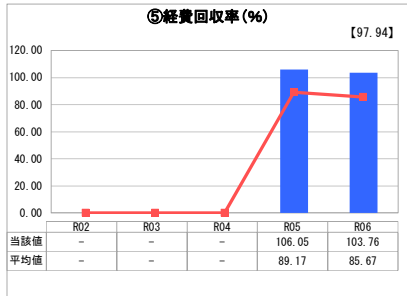
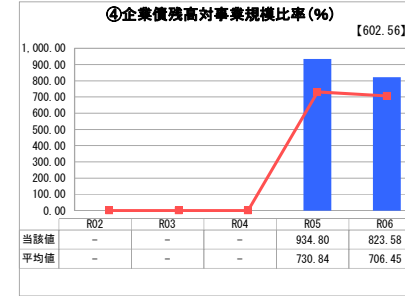
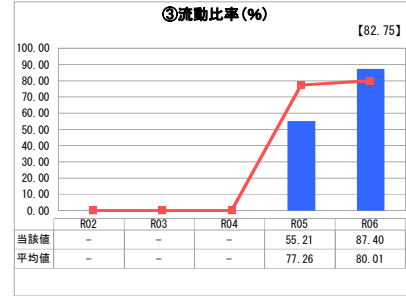
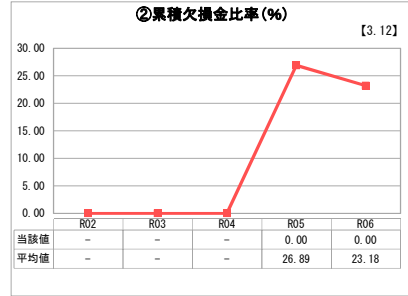
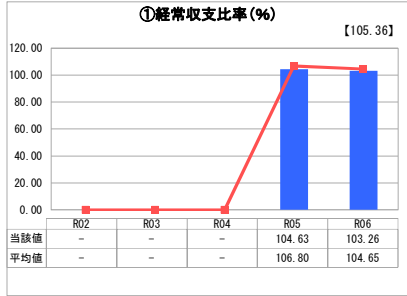
北海道 美瑛町

業務名	業種名	事業名	類似団体系分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	85.95	67.71	62.38	2,904

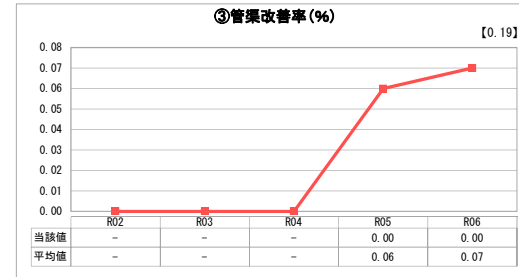
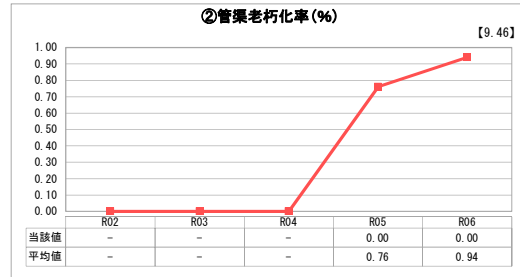
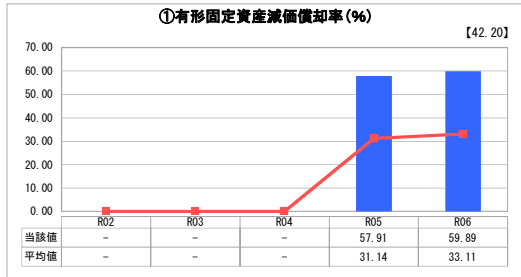
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,283	676.78	13.72
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,253	2.91	2,148.80

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

○費用に対する財源の基本は料金収入だが、建設事業に係る地方債償還金や利子等の不足分については他会計繰入金で賅っている。

○施設利用率及び水洗化率は平均値より高い数値となっているため、汚水処理は適正に行われていると考える。

○地方債償還金は減少傾向にあるが、施設等の老朽化に伴い修繕や計画的な更新が必要のため、今後増加することが見込まれる。

○経営戦略の中長期的な財政計画及びストックマネジメント計画の更新計画に基づき、効率的・合理的な事業経営を行っていく。

### 2. 老朽化の状況について

○管渠や処理場の整備が供用開始から30年以上を超えており、設備の故障による更新工事が発生している。ストックマネジメント計画に基づき順次更新を行っている。

## 全体総括

○現状、処理区域内の管渠整備が概ね完了し、区域内全体に普及しているといえる。

○今後は、施設等の老朽化対策を含めた維持管理が必要であることから、各種計画に基づき更新を行っていく。また、計画と実績を比較・分析し、必要に応じて計画の見直しを検討する。

○令和5年度より地方公営企業法を適用し、財政の見える化を図っている。経営の効率化・合理化の検討を行った上で、経営改善に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。